

教員のICT活用指導力の一層の向上を目指して オンライン授業スタートアップセミナーを開催しました



©2015秋田県んだッヂ

これからの情報社会を生きる児童生徒に必要な情報活用能力を育成するため、文部科学省は学校のICT環境の整備を進める「GIGAスクール構想」を示し、令和2年度にはその早期実現に向けた予算措置を行いました。これにより本県では、県内全ての小・中学校等に児童生徒1人1台端末が導入されることとなりました。県教育委員会では、学校におけるICTの活用促進と、学校の臨時休業等への対応に役立つよう、オンライン授業を行う際に必要となるICT機器の操作方法や活用の仕方などについて小・中学校等の教職員を対象とするセミナーを実施しました。

セミナーの様子

セミナーでは、一般社団法人秋田県情報産業協会に所属する企業から専門家を講師に招き、オンライン会議用のアプリケーションの活用方法について研修しました。

参加した教職員は、タブレットやWebカメラ等の機器の操作方法や、オンライン授業でできることについて説明を受けた後、タブレット等の画面越しに児童生徒と対面することを想定し、実際にWebカメラの前に立って体験してみました。授業を行うことを想定した体験については、教材・教具等を提示してみるなど、実際の指導場面をイメージして行ったことで、オンライン授業を進める上での留意点等に参加者自身が気付き、全体で確認することができました。

また、質疑応答の場面では、オンライン接続に関することや児童生徒への事前指導に関することなど、実際に学校で活用する際に配慮すべき具体的な事柄について質問が出されるなど、参加者の関心の高さがうかがわれました。



オンライン授業を行う際の留意点について説明を受けた後、実際に「Zoom」を活用してみました。児童生徒に活用させる際には、事前の説明や準備を計画的に行っておくことが必要だという声が聞かれました。



授業を想定し、ホワイトボード（黒板）に書いて説明する場面を体験しました。文字の大きさや配置、教員の立つ位置等について配慮が必要だということを実感している様子でした。



教材・教具を提示して説明する場面を体験しました。児童生徒の理解を促すための教材・教具の映し方に関する工夫について、参加者同士が意見交換する様子が見られました。

視覚障害への理解を深めるために

「点字ブロックは安全・安心の道しるべ」～点字ブロック啓発の取組～



秋田県立視覚支援学校

視覚支援学校では、幼稚部、小・中学部、高等部、高等部専攻科で3歳児から成人までの幼児児童生徒が学んでいます。また、見えな
い・見えにくい方への相談支援活動を行っています。

視覚障害のある方が抱える困難の一つに「移動」があります。中でも歩道や公共施設に敷かれている「点字ブロック」は、安心して目的地まで歩くことができる大事な道しるべです。本校では、点字ブロックを多くの方々に知ってもらうための活動を行っており、今年度は次のことに取り組みしました。



【校舎全景】

■児童生徒による秋田駅構内でのアナウンス

10月10日の目の愛護デーを含む1週間、J R東日本秋田支社の協力のもと秋田駅構内にアナウンスが流れました。「点字ブロックの上に物を置かないでください」「危険を感じたときは声をかけてくださると嬉しいです」という全校幼児児童生徒の思いや願いを、代表4名の児童生徒が声のメッセンジャーとして録音しました。この活動は、新聞やラジオに取り上げていただき、県内外の方々の目や耳に届く良い機会となりました。

また、3月18日の「点字ブロックの日」にちなみ、秋田県内4駅（秋田、大館、大曲、羽後本荘）で構内放送されました。



【4名の声のメッセンジャー】

アナウンスはこちらのQRコードから聞くことができます。



■PTA活動として情報発信

保護者が点字ブロックの役割を説明する動画を作成しました。9名が揃いのスタッフベストを着て、本校ホームページで理解と協力を呼びかけています。



啓発動画はこちらのQRコードから見るができます。

【点字ブロックの役割を伝える保護者】

■「啓発用オリジナルポケットティッシュ」の贈呈

生徒会役員が「かがやきの丘」にある聴覚支援学校、秋田きらり支援学校、医療療育センターの児童生徒等や職員に、点字ブロックについて説明した啓発用オリジナルポケットティッシュを贈呈しました。

また、小・中学校、高等学校、大学等での「障害理解出前授業」の際にも配付し、関心をもっていただく機会としています。



【贈呈する生徒会役員】

【保護者デザインによる図柄】

QRコードから本校の活動を見ることができます。



今後も、関係機関の皆様と連携しながら、児童生徒・保護者・職員が力を合わせ、「点字ブロック」の啓発に努めていきます。

秋田県立美術館企画展

平野政吉コレクション 花鳥図を中心に

秋田市エリアなかいち内の県立美術館では、令和3年3月13日（土）から5月9日（日）まで、企画展「平野政吉コレクション 花鳥図を中心に」を開催します。

秋田市の資産家・平野政吉は、生涯をかけて美術品を蒐集しました。平野政吉コレクションは、藤田嗣治作品がよく知られていますが、ジャンルも時代也多岐にわたる作品群で構成されています。

このたびの展覧会では、平野政吉コレクションの中から草花や鳥を題材にした作品を中心に展示します。沈南蘋（しん・なんぴん）や宋紫石（そう・しせき）が描いた写実的で色彩豊かな花鳥図、静謐な空間に花や鳥を描いた秋田蘭画などをご紹介します。

画面のなかで咲く花のみずみずしさ、描かれた鳥たちの生き生きとした姿を、ぜひ美術館でお楽しみください。

藤氏憲承《小禽椿花図》
公益財団法人平野政吉美術財団蔵



会 期：令和3年3月13日（土）～5月9日（日）

休 館 日：3月22日（月）～3月31日（水）

開館時間：10:00～18:00（入館は17:30まで）

会 場：秋田県立美術館 3F ギャラリー

観 覧 料：一般 310 (250) 円 学生 210 (170) 円 シニア 280 (250) 円 高校生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体割引、秋田市立千秋美術館との相互割引、「くるりん周遊パス」、「なかいち回遊割引チケット」を提示された時の割引料金

※シニアは70歳以上

※障害者手帳を持参の方と付添1名は無料

主 催：秋田県立美術館

【関連イベント】

学芸員によるギャラリートーク

日 時：令和3年3月20日（土・祝）、4月17日（土）

各日ともに14:00～14:30

会 場：3F ギャラリー

定 員：20名（電話でお申し込みください）

参加料：観覧券または年間パスポートが必要です

【お問合せ】

秋田県立美術館

（指定管理者 公益財団法人平野政吉美術財団）

秋田市中通一丁目4-2

TEL 018-853-8686

FAX 018-836-0877

お知らせ

県内の教育施設等で開催される
主なイベントなどを紹介します。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、開館スケジュールの変更やイベントを中止する場合があります。
詳細は各施設や担当課へお問い合わせください。

☆あきた文学資料館☆

TEL 018-884-7760

あきた文学資料館 新収蔵資料展

3月14日(日)～5月2日(日) 10:00～16:00

※毎週月曜日は休館日

観覧料：無料

令和2年度にあきた文学資料館に寄贈された自筆原稿や俳句雑誌『白日』『新雪』をはじめ、各地に保存されていた秋田県にゆかりのある貴重な文学資料を展示します。



俳句雑誌『白日』『新雪』の創刊号表紙

☆県立図書館☆

TEL 018-866-8400

「悪疫退散！～災いをはらい、福を呼ぶ～」 (県立博物館との連携展示)

4月3日(土)～5月25日(火) 9:30～17:00

※毎週水曜日は休館日

会場：県立図書館 2階特別展示室

観覧料：無料

様々な感染症に対して、昔の人々はどのように向き合ったのでしょうか。昔から地域に伝わる、まじないや民間信仰に関する資料を紹介します。

☆県立博物館☆

TEL 018-873-4121

企画展

「美の國の名残 博物館の審美眼」

4月29日(木)～6月27日(日) 9:30～16:30

※5月3日を除く月曜日と5月6日(木)は休館日

会場：県立博物館 2階企画展示室

観覧料：無料

博物館の収蔵資料を「美」という観点から問いなおします。かつて博物館にあった美術部門へのオマージュとして、美の国秋田に育まれた美意識を探ります。

☆埋蔵文化財センター☆

TEL 0187-69-3331

令和2年度 秋田県埋蔵文化財発掘調査速報展

3月6日(土)～7月11日(日) 9:00～16:00

会場：埋蔵文化財センター特別展示室

※3月20日(土)は休館日

同センター中央調査班

※土日祝日は休館日

観覧料：無料

令和2年度の埋蔵文化財センターの発掘調査により、県内の遺跡から出土した資料をわかりやすく紹介します。

☆近代美術館☆

TEL 0182-33-8855

特別展

「ときめく美人画展 培広庵コレクション」

4月24日(土)～6月20日(日) 9:30～17:00

観覧料：一般 1,000円 大学生以下無料

培広庵コレクションは、美人画の黄金期といわれる大正時代を含む明治から昭和までの移り変わりを網羅する日本有数の美人画コレクションです。

本展覧会ではその貴重なコレクションから、美人画の巨匠と謳われる上村松園、鍋木清方、伊東深水を初め、秋田県出身の日本画家・寺崎廣業らによる当館所蔵の美人画をあわせてご紹介します。多彩な美人画の世界を味わいながら、そこに込められてきた日本の美意識をご堪能ください。

秋田県特別支援学校文化祭作品紹介

第18回秋田県特別支援学校文化祭（「わくわく美術展」と「みんなの写真展」）が、11月13日（金）～16日（月）に秋田市にぎわい交流館AUを会場に開催されました。「わくわく美術展」絵画コンクール部門940点、「みんなの写真展」309点の応募作品の中から最優秀賞を受賞した作品を御紹介します。

子どもたちが自由な発想で伸びやかに表現した作品を御覧ください。

わくわく美術展 絵画コンクール部門 最優秀賞作品



「太陽と果物」

伊藤 結依（ゆり支援学校 高等部1年）

第27回全国特別支援学校文化祭に出展し、全国特別支援学校知的障害教育校長会長賞を受賞しました。



「先生の手と足」

佐藤 響（栗田支援学校 高等部2年）

みんなの写真展 最優秀賞作品



「交差点にいる厨二病」

瀬川 杜活（天王みどり学園 高等部1年）



「鏡の中の自分」

阿部 琢真（比内支援学校 高等部3年）

■「教育あきた」は、県の教育関連施設や市町村の公民館、図書館等に設置しています。
また、県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」からもご覧いただけます。

この印刷物は4,800部作成し、印刷経費は1部当たり19.79円です。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

令和3年3月19日「教育あきた」No.752
発行・秋田県教育委員会
編集・秋田県教育庁総務課
〒010-8580 秋田市山王三丁目1-1
TEL.018-860-5112 FAX.018-860-5851
Eメール soumu-edu@pref.akita.lg.jp
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/education>